はじめの一歩！CAP を呼ぶには！？

おとなワークショップ

種類

1）子どもワークショップをするために実施
- 保護者ワークショップ
- 教職員ワークショップ

2）学習会として単独で実施 地域の防犯力、子育て支援力を高めるために実施
- 地域ワークショップ 自治会、子育てサークル PTA、教職員研修など

【内容】
- 暴力について
- 権利について
- エンパワメント
- 子どもワークショップの体験（一部）
- 話の聴き方
- おとなにできること

	対　象	人　数	所要時間	料　金
おとなワークショップ	おとなら誰でも	制限なし	2～3時間	20,000 円+税
教職員ワークショップ	教職員	制限なし	2～3時間	20,000 円+税

そのほかのプログラム

おきなわ CAP センターではワークショップ以外のプログラムも実施しています。

☆思春期の心と体プログラム（対象：中学生～）　料金：要相談
心も体もおとなへと大きく変化する思春期に新たに広がる人間関係や特別な関係の中で、自分自身の権利を大切にし、相手も大事にできる関係性について考えます。
★講話時間：６０分程度

☆CAP 式　安全講話（対象：就学前～+教職員＆保護者）料金：20,000 円+税
従来の不審者対策講話とは異なり、暴力防止の視点から誕生した「具体的」で「スグに使える」子どもの勇気と自信を育む安全講話です。
★講話時間：　子ども向け２０分　おとな向け６０分～

☆気持ちのワークショップ（対象：小学生～）　料金：20,000 円+税
『気持ちの本』を使い、私達の心の中にある気持ちを、正直に受け止めて言葉にしていきます。さらに気持ちの裏側にある本当の気持ちにも気づきます。
★講話時間：６０分程度

詳しくはおきなわ CAP センターまでご連絡ください

子どもの安心・自信・自由のために！！活動にご協力ください

ぜひ　賛助会員になってください

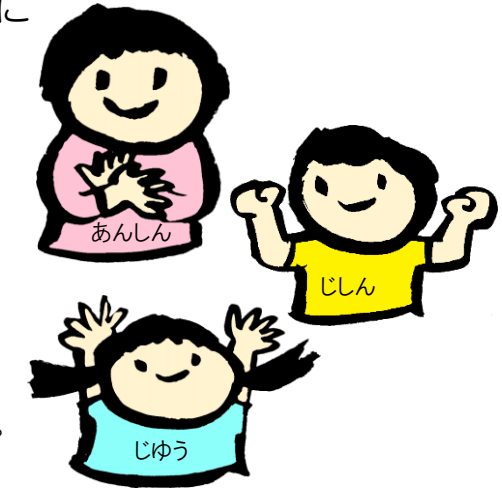
年会費【個人】3,000 円（何口でも）、【団体】5,000 円（何口でも）
＊年に２回の『CAP つうしん』他、講演会情報などをお届けします。

振り込み先　：　ゆうちょ銀行
加入者名　：　特定非営利活動法人おきなわ CAP センター
口座記号番号　：　01770-4-111320

子どもが暴力から自分を守るために

キャップ CAP

Child　Assault　Prevention



CAP は自分を大切にする
気持ちを育てる人権教育です。

特定非営利活動法人
おきなわ CAP センター

安心、自信、自由は私たちの大切なスローガンです。
（SAFE、STORONG、FREE は I/CAP の登録標語です）

CAP とは

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、子どもが暴力から自分を守るための教育プログラムです。

1978 年にアメリカ　オハイオ州で小学生がレイプされたことがきっかけとなって地元のレイプ救援センターでつくられました。その後全米に拡がり、世界各国で実施されるようになりました。

日本には、1985 年アメリカの CAP トレーナー森田ゆりさんによって紹介され、現在日本各地で CAP プログラムが実施されています。

＊CAP プログラムには著作権があり、CAP スペシャリスト以外の人が実施したり、まねをして使うことはできません。

お問い合わせ先
〒900-0015　沖縄県那覇市久茂地 3-29-41-402　すぺーす結気付
TEL&FAX　098-862-1686（平日 10 時～16 時）
ホームページ　http://www.okinawa-cap.com/

はじめの一歩！CAP を呼ぶには！？

こどもワークショップ

CAP のワークショップの特徴

①人権意識…人権意識を育てます
子どもにも「人権」があること、「あなたは大切な人」「あなたには安心・自信・自由の権利がある」と、発達段階に応じた分りやすい言葉で伝えます。

②エンパワメント…問題解決能力を引き出します
ロールプレイ（寸劇）や話し合いを通じて、自分を守るために何ができるのかを子どもたちと一緒に考え、行動の選択肢を増やします。子どもの内なる力を引き出すプログラムです。

③コミュニティ…家庭・学校・地域をつなぎます

●子どもワークショップの前には、おとなワークショップの実施が必要です。
（おとなワークショップには、保護者ワークショップ、教職員ワーク、地域ワークショップがあります）

☆ワークショップ実施までの流れ

おきなわ CAP センターに問い合わせ → 申込み（申込書を送り日程を決定する） → おとなワークショップ実施 → 担任との面談（詳細な打合せ） → 子どもワークショップ実施

小学生ワークショップ　対象：小学校 1 年生～6 年生

子どもの3つの権利

ロールプレイ・話し合い

① いじめ
② 誘拐
③ 性暴力
先生に相談する

→ トークタイム

子どもの質問や悩みを聴き、一緒に考える時間です

あらゆる暴力から自分の安心・自信・自由の権利を守るためにはどうしたらいいのか？

- NO「いや」と言う
- GO にげる
- TELL 誰かに話す 相談する
- 特別な叫び声 “特別な叫び声”や簡単な護身術も身につけます

	対　象	人　数	所要時間	料　金
小学生ワークショップ	小学 1 年生・2 年生	1 クラス	授業 1 時間×2 日	20,000 円+税
小学生ワークショップ	小学 3 年生～6 年生	1 クラス	授業 2 時間	20,000 円+税

中高生ワークショップ　対象：中学校 1 年生～高校3年生

【1 日目】
■暴力とは何かを考える　■権利とは？　安心、自信、自由の３つの権利
■３つの権利が奪われる具体例１：痴漢や暴漢にあったときのモノローグとロールプレイ
■３つの権利が奪われる具体例２：いじめのモノローグとロールプレイ
■ピアプレッシャー（仲間からのプレッシャー）とピアサポート（仲間からのサポート）
■グループディスカッション　■トークタイム

【2 日目】
■３つの権利が奪われる具体例３：親からの押しつけ（ジェンダーの偏見）と体罰のロールプレイとモノローグ
■動いて選択：子どもたち全員が自分の意見を選んで動く
■３つの権利が奪われる具体例４：　中学生：知っている大人から性暴力のロールプレイ
中３～高校生：デートレイプ（恋人間の性暴力）のロールプレイ
■気持ちを話す、聴く練習
■アサーティブネス（率直で誠実なコミュニケーション）のロールプレイと練習
■グループディスカッション　■トークタイム

	対　象	人　数	所要時間	料　金
中高生ワークショップ	中学生・高校生	1 クラス	授業 2 時間×2 日	30,000 円+税

就学前ワークショップ　対象：3 歳～就学前（5 歳）

【1 日目】けんりの概念 子ども対子ども（いじめ）
【2日目】知らない人 対 子ども（誘拐の人形劇）
【3 日目】知っている人 対子ども（いやな触られ方）
→ トークタイム

わかりやすく、写真や人形を使って行います

	対　象	人　数	所要時間	料　金
就学前ワークショップ	3 歳～就学前児童	20 人以下	約 40 分×3 日	20,000 円+税

その他ワークショップ　状況に合わせて必要な工夫や配慮を重ねて実施します。

	対　象	人　数	所要時間	料　金
特別支援学校ワークショップ	障がいに応じて	10 人前後	状況に応じて	20,000 円+税
児童養護施設ワークショップ	年齢に応じて	10 人前後	状況に応じて	20,000 円+税
福祉施設、支援センター等利用者向けワークショップ	状況に応じて	10 人前後	状況に応じて	20,000 円+税

＊ワークショップ＝参加型学習